



はじめて見た給食

原点に戻る……

学校長 池邊 貴康

これは、私が始良地区内のある学校に勤めていたとき、給食試食会に参加された一人の老婦人からいただいたお手紙です。学校給食への思いを綴った本当のお話です。ぜひ御一読ください。



1年生も食欲 もりもり！

昭和三十五年頃のことです。我が子の学校でも給食導入の動きがあり、一日も早く学校給食ができるようにと、婦人会の席などでも、しきりに議論がわいていたものです。

「自分たちの校区でも始めなければいけない。」とか「弁当のおかずを心配しないで助かる。」という賛成論から、給食費の集金はどうするのか。「未納者の対応はどうするのか。」という懐疑派、農家の人たちの中では、「うちには米は多くあるし、野菜も作っているから必要ない。」とか、「月六百円の現金を出すのが苦しい」等の反対論まで出る始末でした。

その後しばらくして、ついに給食が開始されたのです。学校参観の日、私は、先のような経緯を思い出しながら、給食時間まで長居して見せてもらうことにしました。

三角巾を頭にかぶり、マスクをかけ、エプロンを着けた小さい子。給食をしゃくし一つで上手についでいる子どもの手つき……。配られるおかずをじっと見つめている子どもの目の輝き……。その微笑ましいこと。思わずにっこりしたくなるような光景でした。家ではお手伝い一つせず、ついでやのご飯を食べるだけだったうちの子も、皆と一緒にになってかいがいしく世話をしています。こぼしはしないかこっちの方がハラハラしましたが、当の本人はいささか得意そうです。

それから、担任の先生のお話がありました。黒板には今日の献立が書いてあります。先生は「肉はこんなに体に役立つのだよ」「野菜を食べると病気にかかりにくくなるよ」「食べ残すと大きくなれないよ」というような話をされました。「いただきます」と元気よくあいさつをしていよいよ食事……。ここで私は強く心を打たれたのです。どの子も勿論同じおかずですから、のびのびと堂々として、楽しくいただいているのです。

私が小学校時代の弁当時間はどうだったでしょう。おかずを隠して食べている友がいました。麦ご飯を小さくなって食べている友がいました。梅干しと漬物だけの友がいました。それに比べると、この子たちはなんと幸福なんだろうと……。このことだけでも学校給食の価値があるのではないかと思いました。親の手間が省けるということだけで賛成していた私の認識のなさに恥ずかしく赤面の思いがしました。



民生委員さん方の試食会

はじめて見た給食。それは、まさに感動でした。先生方や調理員の方々の御苦勞に心から感謝しながら、希望に満ちた明るい足取りで我が家へ帰ったことを忘れません。

原点に戻ると改めて気付くこともあるものです。初めて見た給食の感動は「平等」……こんなところにあつたのです。さらに、給食の時間は昔から、単なる食事の時間ではなく、給食指導の時間だったので。もっと言えば人間教育の時間なのです。ですから、給食費だってりっぱな教材費であり、教育費なのです。今、本校でも、給食費の未納が問題になりつつあります。もちろん、未納0になるまで督促を重ねていきますが、今一度、原点に戻り、給食のありがたさを皆でかみしめる必要があると思うのです。

夢に向かってがんばる姿～教育実習生の2週間～

6月1日から12日までの2週間、学生4名（鹿児島国際大学3名、鹿児島県立短期大学1名）が、本校で教育実習を行いました。いずれも始良小学校児童の先輩となる実習生ですが、礼儀正しく、明るくひたむきに取り組む姿は素晴らしいものでした。朝、子どもたちと一緒に体力づくりやボランティア活動に励み、各学級の教室で教師としての立場で授業について研究したり、給食室の調理場で実習をしたりしました。最終日前日に全員が評価授業を行いました。これまでに培った技術以上に子どもたちとの関係のよさが印象深い授業となりました。夢に向かってがんばる姿は、まさに児童の手本となるものでした。



続けましょう 感染予防の取組 学校でも家庭でも

緊急事態宣言が解除され、世間では様々な活動が緩和されてきていますが、依然として新型コロナウイルス感染拡大の危険がある状況です。

本校では、「マスク着用」「換気」「手洗い・うがい、手指消毒」等を徹底したり、全校や複数学年での児童の集会を当面見合わせたりしています。また、教室内の座席間隔を極力広くし、ペア・グループ活動の頻度も最低限にしています。特にマスクを外す給食指導時は、全員が前方を向いて食べるようにしています。

来校される保護者や地域の方々も、自主的にマスク着用や手指消毒等行っていただき、大変ありがとうございます。

今後も、下にあるような「新しい生活様式」を継続していくこととなりますが、学校でも家庭でも、外出先であっても、子ども自身が自分の健康と安全を守れるよう、自ら考え判断できる力を育てて生きたいと思えます。

「新しい生活様式」の実践例から（抜粋）

（1）一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

□人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。

□遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。

□会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。

□外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用

□家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。

□手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

（2）日常生活を営む上での基本的生活様式

□まめに手洗い・手指消毒 □咳エチケットの徹底 □こまめに換気

□身体的距離の確保 □「3密」の回避（密集、密接、密閉）

□ 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養

